

LR Tで札幌が変わる ～路面電車を再生・活用するまちづくり～

2005年2月、札幌市の上田市長は、これまで検討していた市電の存廃について、路線延伸や民間活力の導入も視野に入れて市電の存続を発表した。

一方、1997年以来、札幌のLR T (Light Rail Transit新型高速路面電車)^{※1}についてさまざまな視点から調査研究を行い、高いレベルの提言を発表してきている民間の任意活動団体「LR Tさっぽろ」は、札幌市の市電存続発表直前の'04年11月にも「LR Tで札幌が変わる」という提言を出している。今回、その代表である吉岡宏高氏にLR Tに関するこれまでの活動、LR Tによるまちづくりへの提言の意図と今後の展開についてうかがった。

札幌の市電

1909 (明治42) 年、石切山で切り出した石材を札幌市街に運ぶため開設された馬車鉄道は、1918 (大正7) 年、開道50年を記念する北海道博覧会の開催に合わせ電車化され、1927 (昭和2) 年に市営となった。その後も市内各方面に路線を延ばし、最盛期の1964 (昭和39) 年度には総延長25km、年間輸送人員は1億人にも達した。その後、道路の整備が進み自動車が普及したことにより、全国的に路面電車は車にとって邪魔者でしかない前時代の遺物とされた。札幌でもオリンピックを契機として以後の輸送の主役を市電から地下鉄に置き換えることとし、路線を順次廃止。1974 (昭和49) 年には現在の1路線を残すのみとなった。

この路面電車も乗客数は減少の一途をたどり近年は赤字に転落していた。

札幌市は2001年に策定した「交通事業改革プラン」の中で、市電については'03年度末までに存廃を含めて事業の方向性を結論づけることとしていたが結論が出ず、'04年度に持ち込まれた。

'04年度には、市電事業に民間活力の導入が可能かどうかを検討するため、交通や車両整備などを手がける民間企業にヒアリングを実施。従来通りの独立採算では運営は困難としながらも、札幌市の都市交通体系の中での位置づけを明確化にし、延伸などによる路線の

効率化、設備投資などへの行政の支援があれば、可能性はあるとの回答が得られた。また、市民意見を広く募集し、8月と12月に「市電フォーラム」を開催し、広く市民を交えての議論を展開した。

これらの意見を踏まえ、本年2月、上田札幌市長は、路線の延伸や民間活力の導入も視野に入れて市電を存続することを市長談話として発表した。

「LR Tさっぽろ」の設立

こうした札幌市の動きの直前に、札幌市の公共交通、特に市電、LR Tに関連して都市政策、まちづくりの視点から政策提言を試みた集団があった。それが民間の任意団体「LR Tさっぽろ」である。

LR Tさっぽろは、'97年10月に設立された「札幌市のまちづくりと交通に関する政策研究と提言」を目的とした政策研究グループで、市民シンクタンクを目指す。専門分野を有するコンサルタント・弁護士・自治体職員・大学教員・会社員などの男女14名の構成メンバーからなり、国内外の調査から得た知見を、札幌らしいまちづくり政策として水準の高い提言に結晶させている。

代表である札幌国際大講師の吉岡宏高さんは、かつては市電にまったく興味がなく、「役に立たない」とも感じていた。しかし、'96年秋ドイツ・ハノーバーへの視察旅行で見た、



ドイツ・フライブルクのLRT

街を猛スピードで走り、客の乗降もスピーディーなLRTに目を見張った。「必ずまちづくりに生かせる」。乗車経験は吉岡さんの意識を180度変えていた。帰国後、すぐに知人らと団体を結成した。

「LRTに関連する団体は市電、LRT車両が好きな人が核になったものが多いが、われわれの団体はあくまでも目指すまちづくりにいかに役に立つか、いかに街の活性化につながるかが原点です」と吉岡さんは語る。

LRTの導入を求めて、LRTさっぽろは1999年から3回の提言を行っている。

「LRT札幌」の提言

LRTが走る2015年の札幌

'99年8月の提言「LRTが走る2015年の札幌」では、将来の札幌全市を視野に入れた都市構造を構想するとともに、その構造に必要なとされる公共交通の役割を明らかにし、それを実現させる有効な手段としてLRTを位置づけ、さらに導入のための具体的構想・課題を検討整理した。

この中では、①札幌まちづくり戦略として、都心部の構造を移動空間と活動空間しゅんべつに峻別せず交通需要をマネジメントし、両空間を一体的に計画し、情報・経済などの多面的・多様な利用者に対応できる交通を目指すとし、②路線のモデルプランを示し、③LRT導入の三つの障害への対応策として、自動車交通者から公共交通への転換者には都心フリンジパーキング※2や公共交通サービス（低廉な運賃・便利路線・高運行頻度など）を供給する、道路と公共交通の資金配分の見直しを図り、建設と運営を分離し、積雪寒冷地仕様車両で既存技術と新技術を融合し、新産業コンプレックス展開もねらうなどを内容としている。

ひと中心の都心

'02年9月の提言「ひと中心の都心」では、札幌市の「都心交通ビジョン」('01年)の評価と不十分な点への補完(対案)として、都心部の交通とまちづくりを構想し、トランジット・モール※3による具体的な構想を提示した。

LRTで札幌が変わる

市電の存廃問題が詰まってきた '04年11月の提言「LRTで札幌が変わる」では、先の二つの提言をもとに、将来の札幌のまちづくりと交通の新しい関係づくりを見通したまちづくりの契機となる都心でのLRTの10km構想をプロジェクトプランとしてまとめた。

「市電存廃を含むまちづくりと交通に関する市民議論のたたき台とすることをねらいとしている。拙速ではあるが、緊急発表に意味がある」と吉岡代表は強調する。



吉岡代表

※1 LRT (Light Rail Transit 新型高速路面電車) 従来の路面電車を画期的に進化させた、新しいタイプの都市型輸送システム。地下鉄に比べて建設費・運行コストが低く、バスに比べ輸送力や環境負荷の面で優れている。バス・地下鉄・鉄道など公共交通を有機的に結合する仲介役として機能し、既存の公共交通の活性化や高速・高頻度運行による機動力は街の賑わい創出にも貢献する。

※2 フリンジパーキング

公共と民間の整備分担の適正化を図り、都心環状線沿線に房状(フリンジ)に駐車場を整備し、そこからは徒歩あるいは循環バスなどによって目的地にアプローチする方式。

※3 トランジットモール

歩行者と公共交通機関だけが通行できる通り。自動車の乗り入れを制限することによって高質な都市空間が実現でき、都市のイメージを高めたり、快適な歩行環境の形成に貢献します。歩行者天国と違って、公共交



- プロジェクトモデル
- Step 1 2008年—路線10.0km
すすきの～札幌駅前間1.5km延長
 - Step 2 2015年—路線20.0km
都心内のネットワークが完成

通（欧州ではほとんどがLRT）とセットされることによって、移動範囲が飛躍的に広がる。



札幌駅前通トランジットモール化の想像図

路面電車を存続させる

札幌市は '01年4月の札幌市総合交通対策調査審議会答申に基づき、社会実験や「さっぽろ夢ストリート市民1000人ワークショップ」（'03年11月）などを通じて多様な意見・データを集め、'04年7月に「さっぽろ都心交通計画」を策定した。

このワークショップに連動して、都心交通のあり方を考える市民グループ「さっぽろ都心フォーラム」が呼びかけを行い、都心にかかわるさまざまな団体が市電や自転車、札幌駅前通地下歩行空間などのテーマで、'03年8月から11月にかけて、札幌市の後援で12回にわたる「都心の交通・連続ミニフォーラム」を開催した。

LRTさっぽろは、同フォーラムと1000人ワークショップに参加し、「ひと中心の都心」と「公共交通の革新」を主張し、多数の賛同を得た。

これらの活動を受けて、'05年2月、札幌市は路面電車を存続させるとの結論を市長談話として発表した。

その内容は次のようなものであった。

- ・都心のまちづくりの中で、路面電車を積極的に活用するため、路線のループ化などについて早急に検討を開始する。
- ・検討にあたっては、事業費の確保、税投入の軽減、市民との協働によるまちづくりなどの観点から、事業者や企業、商業者など、民間のノウハウを積極的に取り入れる。
- ・ループ化など具体的な路線形態毎に需要推計や費用対効果、自動車への影響などの検討を行うとともに、経営形態のあり方についても並行して検討を進め、都心まちづくり計画や都心交通計画との整合性を図りながら、路面電車の活用方策を取りまとめる。
- ・活用方策を具体化するため、有識者や関係機関からなる検討組織を立ち上げるとともに、市民議論を深めていく。
- ・車両のあり方について、低床車両の導入のみならず、コストや機能面から他の新たな車両システム導入の可能性について、幅広く検討を行う。

LRTさっぽろは、市民シンクタンクとして、市民を中心にした構成メンバーが独自に調査研究し、LRTの導入による都市政策、札幌全体のまちづくり構想まで踏み込んだ調査検討から、事業化した場合の課題と解決策の提案、具体的なプロジェクト提言まで行うという、極めて広範囲な分野にまたがる専門性を有し、しかも、その成果は非常に高度な水準を維持しており、札幌市への提案、市民との議論のたたき台を具体的に提供するという役割を果たしてきた。

今後も、市民・行政間コミュニケーションのあり方のユニークなモデルとして活かされることを期待したい。

LRTさっぽろ

<http://www.lrt-sapporo.gr.jp/>